

第1回国際委員会Gサイエンス学術会議2023対応分科会
議事要旨

1. 日 時 : 令和4年5月9日(月) 18:00~19:30

2. 場 所 : オンライン (Zoom) 開催

3. 出席者: 高村委員長、梶田副委員長、橋本委員、武田委員、吉村委員
(事務局): 寺内参事官、国際業務担当室員

4. 議 題 :

(1) 役員の決定について

委員の互選により、委員長には高村委員が選任された。また、委員長の指名により、副委員長に梶田委員が選任された。

(2) Gサイエンス学術会議2023について

①対応分科会について

委員長より、本分科会は非公開で開催し資料も非公開とするが、議事要旨をホームページで公開することが提案され、承認された。次に、委員長よりGサイエンス学術会議2023の開催日程、構成、分科会の開催予定、目的が説明された後、委員間でGサイエンス参加アカデミーの規模、学術分野、人文社会科学系アカデミーの関与等に係る議論が行われた。

②スケジュールについて

委員長より、9月頃までに本対応分科会でテーマを確定した後、執筆分科会を設置し、共同声明案を作成する流れ等が説明された。委員からはテーマの決定過程における各国アカデミーへの関与について質問があり、委員長及び事務局より、原則として主催アカデミーが決定するが、素案段階で各国アカデミーへの意見照会も可能であることが説明された。

③共同声明のテーマ案について

委員長より、テーマ選定の基本的な考え方 (G7サミットや関連大臣会合との関連性、継続性)、近年のGサイエンス学術会議等のテーマ、テーマ候補案が説明された。その後、テーマ候補を絞り込むための観点、候補間の関連性 (地球観測データの共有化に係る気候変動とオープンサイエンス、気候変動と防災、ヘルスと食料危機、ヘルスとオープンサイエンス)、テーマ設定の次元 (実務的な提言かシンボリックなアプローチか)、日本が議長を務める上での先導性、首脳会合及び科学技術大臣会合との関連付け、ウクライナ情勢に関するテーマの扱い等について議論された。

④その他

委員長より、次回は8月頃開催し、テーマについての具体的な議論を行う、各委員からテーマの候補と概要をご提案頂きたい旨述べた。

以 上